

【幼保小連携通信】

保育課・学校教育課
幼保小連携担当

夢に向かって挑戦する子ども

令和8年度
10月2日 No.7

幼保小連携の取組をご紹介します

園で・学校で・地区で、いろいろな連携の形を工夫し、進めています。



学びのつながり

【谷口中学校区 小中一貫の日】 ～谷口中・鶴園小・谷口小～

谷口中学校区では、小中一貫の日に中学校区担当指導主事・保育課主幹保育士を講師として、「幼保小中連携」をテーマに研修会を行いました。

園での遊びを通した学びをどう小学校へつなげていくか、実際の園の様子を聞き、考えました。また、幼児期について学んだり、幼児とふれあったりという中学校での技術・家庭（家庭分野）単元の展開について、幼保小中連携の実践事例を共有しました。弥栄中では連携園や近隣園の幼児を学校に招待したり、北相中では連携園へ訪問したりし、幼児とふれあい体験をしています。



つながる力

学習指導要領等の改訂が進められています。令和10年度の園での全面実施から始まり、小・中・高等学校と続きます。園の教育要領・指針においては、幼児教育（0歳から小学校就学前まで）が小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力の育成を図っているとし、小・中・高等学校における教育課程の変革を支える基盤的役割を果たすとされています。0歳～18歳までの学びを見通し、学びの連続性・一貫性を図ることが求められている今、“幼保小”から“幼保小中”までが連携し、幼児教育・学校教育を理解し合うこと、そして、お互いに教育・保育を見直すことがより一層大切になるのではないのでしょうか。



子ども発信

【ちゅうりっぷ保育園 学校探検】

ちゅうりっぷ保育園年長児が鶴園小学校へ学校探検に行きました。連携校ではない鶴園小学校へなぜ？どうやら園児たちは、入学する小学校を選択できていると思っているよう。友達が通う鶴園小学校の場所を調べたところ、園から近いことが分かり、「行ってみたい！」と計画したとのこと。探検の中でいろいろな人・もの・ことに会うことができたようです。



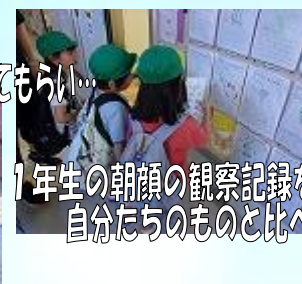
体育中の6年生に

給食や登校時等について聞き...



虫探し中の3年生から

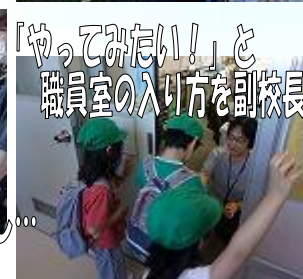
捕まえたバッタを見せてもらい...



1年生の朝顔の観察記録を
自分たちのものと比べ...



探検中に出会った校長先生に
「校長室が見たい！」とお願いし...



「やってみたい！」と
職員室の入り方を副校長先生と...



「図書室教えてあげる！」と
4年生に案内され...



学校側の
特別な準備なし

計画された“してもらう”“してあげる”ではない、
自然な子どもたちの関わりが生まれていました。